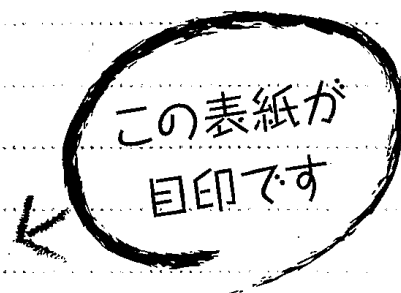


事前指示書 H○T A R U (ほたる)

もし認知症、老衰、がんなどのために
自分の思いを伝えることができなくなったら
どのようにしてほしいと思いますか？
健康で元気なうちに、普段の生活の中で
自分あるいは大切な家族と一緒に考えて伝えておきませんか？



「HOTARU」はそのためのノートです。
決めるのは、あなた。 考えることから始めてみては？
まずは手に取ってごらんください。

岩手県 せいのろく せいのろく



カシオペア地域医療福祉研究会(世話人会メンバー)

岩手県立二戸病院、同一戸病院、同軽米病院、二戸医師会、二戸歯科医師会、二戸薬剤師会、二戸地域
介護保険事業者協議会、二戸広域介護支援専門員協議会、二戸訪問看護ステーション、結愛サービス公社
訪問看護ステーション、二戸市・一戸町・軽米町・九戸村地域包括支援センター、岩手県二戸保健所

事前指示書「HOTARU」について

◎「HOTARU」はカシオペアで誕生した『地域版事前指示書』

「HOTARU」は岩手県の4市町村からなる「カシオペア連邦」という地域にあるカシオペア地域医療福祉連携研究会という地元の福祉、介護、医療関係者の研究会で作成しました。私達は「HOTARU」が皆さんの生活や地域をより良く変えてくれると考え創りました。

◎「HOTARU」はどういうときに使うもの？

終末期、あるいは、施すべき有効な治療が無いと判断され、本人が意思表示できない時に、ご家族やご親族、医療者、場合によっては入所していた施設関係者などと今後の治療について検討する際に「HOTARU」に書かれている内容を「本人の意見」として尊重いたします。

◎「HOTARU」に書いたことはすべて希望通りに行われるのか？

終末期にどのような医療を受けるか、あるいは受けないかは事前指示書で全てが決まるわけではありません。「HOTARU」も同様に記載の通りに医療行為を行う、あるいは行わないことが倫理的に問題のある場合や、ご家族やご親族、その他の方に許容できる範囲を超えた負担や苦痛が及ぶ場合は必ずしも記載の通りにならないこともあります。

◎「HOTARU」と救急医療

「HOTARU」に記載した延命療法に関しての希望は最初から救急処置や蘇生処置をする、あるいは、しないという意味ではありません。救急患者については救命のために必要な処置は行います。

◎気持ちに変化があったときは何度でも書き換えましょう

一度「HOTARU」を記載しても、その後ご自身の体調や病気の状態、ご家族の状況により内容は刻々と変化することもあります。そのような時には何度でも書き換えて構いません。以前に記載したものでもご家族や医療者、他の職種との話し合いにより今後の治療にあなただけの意思が尊重されるようにします。

◎あなたの意思を確実に伝えるためには？

事前指示書に書いた内容が、確実に尊重されるためには、「HOTARU」をかかりつけ医や施設入所中の方であれば施設の方に見せることをお勧めします。次いでご家族の方に見せておくことをお勧めします。“初めて書く場合”や“ほかの人に見せることに抵抗のある”ときには「自分の心にとめておく」ことも良いと思いますが、いざという時に尊重されない、あるいは、ご家族が判断に迷う可能性があります。

問い合わせ先

カシオペア地域医療福祉連携研究会事務局
(二戸病院地域医療福祉連携室内)

0195-23-2191